

- 問1 ある都市の気象統計において、年平均気温が11.7度、年間の降水量が1686.2mmであり、特に1月の降水量が119.2mmと冬の時期に多くなっている場合、この都市が位置する地域の気候的特徴として最も適切なものはどれですか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬に大陸から吹きつける湿った北西の季節風の影響で、雪や雨が多くなる。
 2. 年間を通じて天候が安定しており、季節ごとの降水量の変化がほとんど見られない。
 3. 夏に太平洋から吹きつける南東の季節風の影響を強く受け、降水量が夏季に集中する。
 4. 山地を越えて吹き下ろす乾燥した風の影響で、冬の降水量は極めて少なくなる。
- 問2 ある地域の沿岸部において、津波浸水想定区域が網掛けで示され、学校や公園に指定避難場所の記号が付された防災資料があります。この資料を読み取り、実際の避難行動に活かす際の説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 避難を円滑にするため、地形に関わらず、海岸付近にある駅から最も距離が近い指定避難場所を常に利用するよう徹底する。
 2. 浸水想定区域の境界付近にある果樹園などの特定の土地利用を目印にして、浸水域の内側であっても頑丈な建物であれば避難先として指定する。
 3. 網掛けがされた浸水想定区域の外側に位置し、かつ等高線から標高が高いと判断できる指定避難場所を、第一の避難先として選定しておく。
 4. 等高線の密度が高い急斜面であっても、浸水想定区域をわずかでも外れていれば、斜面崩壊の危険性を考慮せずに避難経路に設定する。
- 問3 地震発生時に液状化現象が起こりやすい地域の土地条件と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥根県公立入試 類似)
1. 硬い岩盤で構成された台地において、地震のエネルギーが一点に集中して地面が割れる。
 2. 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。
 3. 山間部の急傾斜地において、激しい揺れによって表面の土砂が一度に崩れ落ちる。
 4. 大規模な森林伐採が行われた場所で、土壌の保水力が失われて地面が流動化する。
- 問4 日本列島の中央部を南北に縦断するように位置し、ラテン語で「大きな溝」を意味する名称を持つ、地質学的な境界を含む地域を何と呼びますか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 火山前線（火山フロント）
 2. フォッサマグナ
 3. 中央構造線
 4. 日本海溝
- 問5 ある地域の地形図の読解において、土地利用と集落の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、その地形図には「針葉樹林」「果樹園」「荒地」の記号が確認でき、家屋が特定の道路沿いに集中して並んでいるものとします。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 荒地や針葉樹林が見られるが、家屋は広大な耕作地の中に軒ずつ離れて点在している。
 2. 広葉樹林や茶畑が斜面に広がり、等高線の密度が高い急斜面に沿って家屋が密集している。
 3. 田や畑が広がり、灌漑用の溜池を中心として家屋が円状に集まる集落が形成されている。
 4. 針葉樹林や果樹園などの土地利用が見られ、道路に沿って家屋が列状に並ぶ集落が形成されている。
- 問6 火山の防災計画において、地形図の等高線から溶岩流が通過しやすい場所を予測する方法として正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 等高線の間隔が最も広がっており、周囲の土地より高くなっている平坦な尾根状の場所を特定する。
 2. 等高線が密に重なり合っており、傾斜が急で周囲の土地より高くなっている絶壁の場所を特定する。
 3. 等高線が海岸線に向かって凸状に張り出し、周囲の土地より高くなっている場所を特定する。
 4. 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。
- 問7 日本列島の地形において、新潟県付近から静岡県付近にかけて南北に縦断するように位置し、列島を東西に大きく分ける境界となっている巨大な溝を何と呼びますか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. フォッサマグナ
 2. 日本海溝
 3. 中央構造線
 4. 環太平洋造山帯
- 問8 日本列島の中央部に位置し、地質的に東日本と西日本を大きく分ける帯状の巨大な溝状の地形を何というか、最も適切な名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 日本海溝
 2. 中央構造線
 3. フォッサマグナ
 4. 火山帯
- 問9 リアス海岸は、波が穏やかで水深が深いという地形的特徴を持っています。このような環境を利用して、若狭湾などの地域で古くから盛んに行われてきた活動について、適切な説明はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 広大な平地を利用して、大規模な機械化による稲作が行われている。
 2. 火山灰が積み重なった土地を活かして、畑作が行われている。
 3. 波の静かな環境を活かして、魚介類の養殖業が行われている。
 4. 遠浅の海岸を利用して、大規模な塩田による塩作りが行われている。
- 問10 自治体が作成するハザードマップにおいて、地形図上で等高線の間隔が非常に密になっている山地周辺が危険区域に指定されている場合、特に警戒すべき自然災害とその理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 津波：等高線の間隔が狭い場所は海岸に近く、大きな波が押し寄せやすいため。
 2. 土砂災害：等高線の間隔が狭い場所は急傾斜地であり、大雨などで地盤が緩みやすいため。
 3. 火山の噴火：等高線の間隔が狭い場所は必ず活火山が存在し、溶岩が流出しやすいため。
 4. 洪水：等高線の間隔が狭い場所は標高が低く、河川の水が溢れやすいため。
- 問11 日本の冬の気候において、日本海側の地域で雪や雨などの降水量が多くなるメカニズムを説明したものとして、最も適切な記述はどれか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. シベリア気団から吹き出す冷たい北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の山脈にぶつかって上昇するため。
 2. 太平洋高気圧から吹き出す湿った南東の季節風が、対馬海流の影響で冷やされ、日本海沿岸部で凝結するため。
 3. シベリア気団から吹き出す乾燥した北西の季節風が、山脈を越えて日本海側に吹き下ろす際に、急激に雲を発達させるため。
 4. 小笠原気団から吹き出す暖かい南東の季節風が、日本海側の冷たい空気と衝突し、停滞前線を形成するため。
- 問12 三重県の志摩半島周辺のように、多数の小さな入り江と岬が連続し、海岸線が非常に複雑になっている地形の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 起伏の激しい山地の谷に海水が入り込んで形成され、波が穏やかな入り江を利用した養殖業などが盛んである。
 2. 川が山地から平地へ流れ出す場所に土砂が堆積して形成され、水はけが良いため果樹園などに利用される。
 3. 川が運んできた土砂が河口付近に堆積して形成され、水田として利用されることが多い平坦な土地である。
 4. 海岸沿いで強い風によって砂が積み上げられて形成され、農業には適さないが観光地として利用される。